

平成 19 年 度

新見市男女共同参画基本計画

にいみ男女共同参画プラン 実施計画・実績書

総務企画部企画課

# 基本目標Ⅰ あらゆる分野への男女共同参画の促進

## 重点項目-1 政策・方針決定過程における男女共同参画の促進

### (1) 行政における女性の参画促進

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
審議会等への、女性委員の登用を積極的に進めるため平成22年度までに、女性委員の平均登用率の目標値を30%に定める。また、職員の任用、管理監督者への登用及び職域拡大を図り、能力開発のための研修機会の充実を図る。	○審議会等における女性委員の比率 新見市23.1%・・・平成20年4月1日現在	関係各課
	○女性委員がない審議会の解消 各種団体・組織の長がその職に就いているケースが多く、その長が男性である場合が多いため、女性の委員がない審議会がある。また、専門知識を有する者等女性の人材不足の場合もある。 今後、充て職等の選考基準を見直す必要がある。	総務課
	○能力ある職員の登用を積極的におこなうとともに、女性の活躍の場の確保に努めた。 市職員517名・・・うち女性職員138名 (教育職・調理員除く)	学校教育課
	○学校職員の管理職への女性の登用促進を図るため、優秀な人材に管理職選考への受験を促し、管理職への推薦も積極的におこなったが、男女比ではまだ女性が少ないため、今後も積極的に推薦し、受験の機会を与えていく必要がある。(校長6名 教頭9名)	

### (2) 企業、地域団体等における女性の参画促進

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
男女共同参画社会に関する情報提供を行い、方針決定の場に男女共同参画の考えが浸透するよう、また、女性の能力発揮のための積極的取り組みへの働きかけをおこなう。	○行政地区総代会を市内20か所で開催。地区総代は地区からの推薦によるもので、積極的な女性登用はできないが、女性の出席も多くあった。	総務課
	○社会教育・社会体育団体等の活動や会議において、女性が発言しやすく、能力発揮のための環境づくりとなるよう指導・助言を行った。	生涯学習課
	○市政懇談会を市内12か所で開催。積極的な女性の参加もあり、市政について女性の視点からの意見や提案を、発表する機会を持つことができた。 また、テーマを絞ったフリートークを市内5か所で開催した。 対象 小学生、会社員、子育て中の保護者	企画課

## 重点項目-2 家庭生活と地域社会への男女共同参画の促進

### (1) 家庭生活における男女共同参画の促進

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
男女が共に職業生活と家庭生活との両立ができるようにする、という観点に立った広報活動を推進するとともに学習機会を提供する。	<p>○幼児クラブ交流会の遠足や保育所の参観日、講演会等の行事への父親参加の呼びかけを実施した。</p> <p>○男性料理教室の開催等、公民館講座等を通じて男女共同参画の意識づくりを行った。 「男性料理教室」開催回数10回</p>	<p>社会福祉課</p> <p>生涯学習課</p>

### (2) 地域社会における男女共同参画の推進

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
ボランティア活動やNPO活動など社会活動、公民館活動など地域活動へ男女がともに参画できるよう情報提供や、参加を推進する。また、賢い消費者の育成や環境保全活動への参画推進、相談体制の充実を図る。	<p>○スポーツ少年団や地域の青少年育成団体等の会議等で男女共同参画の意義や考え方を広報し、親子で男女共同参画社会に向けての意識づくりを図った。</p> <p>○新見市民運動推進協議会が中心となり「川をきれいにする運動」を実施し、市民、約8,000人の男女が協力して、地域の美化活動に取り組むことができた。</p> <p>○合併により支局単位で活動していた岡山県消費生活問題協議会を一本化し、新見支部とし、会員にもだれでも加入できるよう規約も改正した。</p> <p>○悪徳商法に関する講演会を実施し、同時に消費生活パネル展も行った。 参加者40名(内訳 男11名 女29名)</p>	<p>生涯学習課</p> <p>生活環境課</p>

## 重点項目-3 国際化社会に対応する男女共同参画の推進

### (1) 国際交流・国際協力活動の推進

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
国際社会の取組の成果や経験を活用し、国際的視野を広げるため、国際交流事業への女性の参画を促進する。	○新見市と友好都市等で交流している諸外国都市との交流事業への参加募集を行い、アメリカニューヨーク州ニューパルツビレッジ、カナダのシドニー市へ市民を派遣した。また、ホストファミリーとして自宅での受入もおこなった。	総務課

### (2) 異なる文化を認め、多文化共生をめざす意識づくり

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
異文化理解のための講座・交流機会の充実や国際理解教育を推進する。	○公民館長会等で、異文化理解についての研修を行うよう指導を行い、3公民館で公民館講座を開催した。	生涯学習課
	○新見市国際交流協会による、講演会、英語、中国語、ハンダ語講座を開催、市民参加による国際交流ふれあいデイも開催しており、参加者の国際感覚を養うこともできた。	総務課
	○各校年間20日程度ALTが担任とともに英語活動を実施、異文化交流等国際交流理解を推進している。	学校教育課
	○市民課の窓口で「外国人のための岡山生活情報ハンドブック」(岡山県国際交流協会発行)や「在外外国人巡回相談」(岡山県国際交流センター主催)の実施案内を配布し、活用されている。	市民課

## 基本目標Ⅱ 男女共同参画社会に向けての意識づくり

### 重点項目-1 男女共同参画の視点での社会制度・慣行の見直し

#### (1) さまざまな機会と方法による啓発活動の充実

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
固定的な性別役割分担意識や男性優位の考え方を払拭し、男女共同参画の視点に基づいて職場・家庭・地域における慣行を見直すようあらゆる機会と方法を活用して啓発をおこなう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女共同参画講座の開催 心とからだのリフレッシュ講座 13人</li> <li>○男女共同参画社会づくりフォーラム開催 20年3月2日開催 250人参加(男性も多数参加)</li> <li>○広報紙、ホームページ等による広報・啓発活動</li> <li>○男女共同参画情報紙「りぼん」発行 19年8月、20年2月 年2回発行</li> <li>○男女共同参画プラザでは、各種情報を収集し閲覧や、図書、ビデオの貸出を行っている。 (図書 214冊 ビデオ 41本 DVD 2枚)</li> </ul>	企画課

#### (2) 市職員・教職員に対する研修の充実

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
市職員等への研修や啓発、情報提供や、組織内の制度や慣習を男女共同参画の視点で見直す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女共同参画形成セミナー(ウィズセンター主催)へ職員を派遣するなど、各種研修に積極的に派遣した。</li> <li>○男女共同参画職員研修を実施 「家庭・地域・職場における男女共同参画社会」と題した職員研修を実施し、職員の意識改革を図った。 講師 岡山大学大学院教授 小松泰信氏 職員256人参加</li> <li>○新見市男女共同参画行政推進会議を開催し、庁内における男女共同参画意識の向上に努めている。また、下部組織の研究会においても各種の取り組みの推進を図っている。</li> <li>○市職員全体を対象にした男女共同参画研修会に公民館職員を出席させ研修を深めた。 参加人数 10人</li> <li>○市の教育研修所で男女共同参加の研修を実施した。</li> <li>○来客、会議等のお茶くみ、退庁時の清掃等についても手の空いたものが行い、また、紙コップ、ペットボトル等の利用が増加し、女性のみが行うことはなくなっている。職場内の慣行の見直しや性別役割分担意識も改善してきている。</li> </ul>	総務課     企画課   生涯学習課   学校教育課  関係各課



## 基本目標Ⅲ 男女共同参画のための働く環境の整備

### 重点項目-1 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保

#### (1) 労働に関する法律・制度の周知

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
労働基準法、男女雇用機会均等法など労働に関する法律や制度などを周知徹底する。	○市として、事業所等に対し労働に関する法律・制度の周知等、具体的な取り組みはできていないが、パートタイムガイドンス開催などハローワーク新見や、21世紀職業財団等と連携して取り組んでいる。また、岡山労働局雇用均等室主催のセクシャルハラスメント防止等のセミナーの開催、広報紙市報にいみに男女雇用機会均等法改正に伴う説明会・相談会について周知を図っている。	商工観光課

#### (2) 女性の能力発揮への支援

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
資格取得、技術取得の機会を充実し、女性の能力活用について啓発をおこなう。	○パソコン講座(新見地域雇用創造促進協議会主催) 講座回数4回(2.5時間×10日×4回) ○広報紙市報にいみでのウイズセンター主催のキャリアアップ講座の周知。	商工観光課 企画課

#### (3) 女性の妊娠・出産に関する健康管理対策の促進

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
女性が働きながら安心して子どもを産むことができる環境を整備する。	○母子手帳交付に合わせて、「母性健康管理指導事項連絡カード」を配布し、事業者へ妊娠や出産に関する健康管理の重要性について周知を図っている。	健康づくり課

#### (4) 多様な働き方の支援

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
女性に多いパートタイム労働者や、起業を希望する女性に対して情報を提共する。	○「新規起業・創業セミナー」(新見地域雇用創造促進協議会主催)開催 ○ウイズセンター主催の起業応援セミナーのチラシを配布	商工観光課 企画課

## 重点項目-2 家族経営的な職業における男女共同参画の確立

### (1) 農林業及び自営の商工業者における男女共同参画の推進

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
家族経営協定の普及を図り、家族経営的な職業に従事する女性が各種委員会の委員や、団体等の役員に参画できるよう支援し、また、権利が確保されるよう施策を推進する。	<p>○家族経営協定推進地区を設定し、研修会、実践農家の活動発表、先進地視察等をおこない新たに2戸が家族経営協定を締結 家族経営協定締結数 22戸</p> <p>○認定農業者ニュース(年2回発行)での啓発を実施(新見市担い手育成総合支援協議会、新見農業普及指導センター)</p> <p>○認定農業者を対象に家族経営協定推進パンフレットの配布)</p> <p>○新見 農業と地域を考えるつどいを実施 ジェンダー漫才「みんないきいき 家族経営」160人参加</p>	農林課

## 重点項目-3 男女の仕事と家庭・地域生活の両立支援

### (1) 多様なライフスタイルに対応した子育て支援の充実

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
保育サービスの整備及び在宅の乳幼児も含めた子育て支援策を検討実施する。	<p>○無認可保育園への助成・支援 無認可保育園(8箇所)へ1,849,7千円、幼児クラブ(2箇所)へ6,121千円助成。</p> <p>○多様な需要に応える保育サービスの推進 延長保育、障害児保育、休日保育等 延長保育581件、休日保育(新見保育所)24件実施。</p> <p>○在宅児も含めた子育て支援の推進 一時保育、子育て支援センター、子育て広場等の充実 一時保育(新見保育所)772人 子育て広場延べ利用として5,973人</p> <p>○放課後児童クラブ(学童保育)の充実 放課後児童クラブ登録者として550人を実施。</p> <p>○児童手当の充実 被用者児童手当 6,335人 59,410千円 非被用者児童手当 1,050人 9,835千円 特別例付 69人 625千円 被用者小学校3年終了前特例給付22,355人 132,265千円 非被用者小学校3年終了前特例給付4,430人 26,410千円</p>	社会福祉課

<p>○子育て支援センターでの支援活動と保育 園庭開放時に紙芝居やリズム体操等の外に新見短大生と一緒に遊んだり、子育て座談会や身体測定・食育ミニ講演として保健師・栄養士を講師として招いた。また、交通安全や熱中症予防講演と行った。 市内の幼児クラブへ出前保育を行い、新見短大生の実習の場として幼児とふれあい育成の提供等を行った。</p> <p>平成19年度園庭開放利用延べ人数 子ども 2,926人 保護者 2,891人 計 5,817人</p> <p>○次世代育成行動計画により、多様なライフスタイルに対応できるように子育て支援策の充実を図る。</p> <p>○子育て支援コーディネーターを配置 子育て支援情報集約、蓄積、ホームページによる情報の公開等を行い、また、電話による保育依頼等にも民間で立ち上げている「にいみ保育サポーター」と連携を取り保育のサポートを行っている。</p> <p>○乳幼児医療の充実 就学前の乳幼児を対象とし、医療費自己負担額（付加給付金・高額療養費を控除）を全額支給 受給対象者数 2,154人 医療費助成金額 59,766,764円</p> <p>○公民館を中心とした放課後子ども教室を実施した。 市内公民館10館を指定し、地域文化や地域住民とのふれあいを取り入れた事業を展開（10教室実施）</p>	<p>市民課</p> <p>生涯学習課</p>
---	-------------------------

(2) ひとり親家庭等の自立支援

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
ひとり親家庭等の自立を支援する。	<p>○各制度(児童扶養手当、医療、貸付等)の紹介や情報を提供することにより、自立支援を行った。 平成19年度 31件</p> <p>○母子自立支援員による窓口及び電話相談をおこない、各機関との連携を図りながら支援を実施した。</p> <p>○ひとり親家庭へ「新しい生活を始めるためのガイドブック」を配布した。</p>	社会福祉課

(3) 仕事と育児・介護の両立のための雇用環境の整備

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
育児・介護休業法の定着促進と、仕事と育児や家族の介護を両立させるための環境を整備する。	<p>○育児休暇・介護休暇取得者の取得期間・復帰時期については原則本人希望によりおこなっている。 育児休暇取得者 9人 育児休暇復帰者 2人</p> <p>○育児休業の取得促進について、校園長会や通知文等により啓発をおこなっている。 男性育児休業者 1名。</p> <p>○子育て休暇が家族休暇に改められ(県費負担教職員)家族の状況に応じて、職員が休暇を取りやすくした。</p>	<p>総務課</p> <p>学校教育課</p>

(4) 介護支援体制の充実・整備

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
<p>介護保険、介護サービス等の在宅福祉施策を充実させる。</p>	<p>○新見市障害者地域活動支援センター「ほほえみ広場にいみ」に障害者自立支援員5名を配置し、相談業務を行っている。また地域住民とレクリエーションを行い、交流の場として提供している。</p> <p>利用者 延べ 8,901人 相談件数 延べ 1,872件 交流事業 ほほえみクッキング、餅つき大会、クリスマス会など</p> <p>○地域包括支援センターを設置し、地域で暮らす高齢者が、住み慣れた土地で生き生きと生活できるよう、介護予防・高齢者の相談等に応じ、プランの作成、サービスの紹介等総合的におこなっている。</p> <p>○寝たきりや認知症高齢者を在宅で介護している介護者へ介護手当(月額1万円)の支給や介護用品の給付による経済的負担の軽減と家族介護者の交流会や日帰り旅行等で介護者の精神的負担の軽減を図った。</p> <p>家族介護者交流事業 開催10回 参加者109人</p> <p>介護手当給付(月額10,000円) 上期238人 12,490千円 下期250人 14,500千円 延べ488人 26,990千円</p> <p>介護用品給付 34人 1,656千円</p> <p>○生活機能低下が疑われる特定高齢者等の介護予防教室を実施。</p> <p>特定高齢者介護予防教室 7教室で各6回開催</p> <p>サロン 千屋 9回 熊谷 4回開催</p> <p>介護予防教室 保健福祉センター3教室、井倉、豊永、菅生、大田会場は月1回 戸宮 6回 荻尾 5回</p>	<p>社会福祉課</p> <p>高齢者支援課</p>

# 基本目標Ⅳ 男女の人権が尊重される社会づくり

## 重点項目-1 メディアにおける人権の尊重

### (1) メディア・リテラシーへの取り組み

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
メディア・リテラシーのための広報活動や講座など学習機会を提供する。	<p>○それぞれの学校に於いて、校内研修を通して、教育効果を上げるには、どの場面にもどのようにしてコンピュータやインターネットなどを利用したらよいか研修した。また、コンピュータやデジタルカメラなどを活用して授業効果の向上に努めた。</p> <p>○新見市のホームページに男女共同参画コーナーを設け「新見市男女共同参画まちづくり条例」「男女共同参画プラン」などを載せて啓発に努めている。</p>	<p>学校教育課</p> <p>企画課</p>

### (2) 行政刊行物等の表現における男女平等の推進

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
市が作成する刊行物等については、男女共同参画社会の視点に立って作成する。	○庁内、広報公聴委員連絡会議において、性にとらわれない表現の周知徹底を図っている。	企画課

### (3) 高度情報通信社会における新たな課題への対応

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
インターネット等について人権に配慮した正しい利用についての啓発を行う。	<p>○児童・生徒に対し、積極的なインターネットの活用を図ると共に正しい利用方法をきちんと指導し、犯罪の加害者や被害者にならないよう指導している。</p> <p>○平成19年度中に実施した各地でのラストワンマイル事業に係る説明会等において、インターネット等の利用の中で人権に配慮した情報の発信・収集等について啓発を行った。</p> <p>○セキュリティーポリシーを定め、職員には研修・ネットワークをとおして周知徹底している。</p> <p>○まなび広場のメディアフロアでは、利用者に対して、公共の施設であることへの認識を深めたり注意の喚起を行い、ブログ等への不適切な書き込み等のチェックを行っている。</p> <p>○民間社会教育事業者(通信情報事業者)の学習講座を許可し、インターネット等の正しい使用方法等についての研修を深めた。 2公民館で実施</p>	<p>学校教育課</p> <p>情報政策課</p> <p>生涯学習課</p>

## 重点項目-2 女性に対するあらゆる暴力の根絶

### (1) 女性に対する暴力の発生を防ぐための基礎づくり

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
セクシャル・ハラスメント防止にむけた、広報活動及び防止対策等の環境整備を推進する。	<p>○ 服務規律の中で、セクシャル・ハラスメント防止についても徹底している。また、相談体制についても確立している。</p> <p>○ 「新見市立小中学校におけるセクシュアル・ハラスメント防止等に関する要綱」を作成し、校園長会においてその徹底を図った。また、相談窓口の体制づくり等の徹底を図っている。</p> <p>○ 不祥事防止リーフレット「教職員の服務規律の確立のために」(岡山県教育委員会)や新聞記事等により各学校で服務についての研修を実施した。</p>	<p>総務課</p> <p>学校教育課</p>

### (2) あらゆる暴力への対策

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
DV防止法等関係法令の周知、相談しやすい環境整備、相談機関の連携を図る。	<p>○ 男女雇用機会均等法、DV防止法など関係法令について新見市ホームページに掲載し徹底を図っている。</p> <p>○ 相談機関として、男女共同参画プラザを設置し、相談員を配置している。広報紙等活用しながら機会ある毎に周知を行っている。 開設日時 火曜～木曜 10～18時</p> <p>○ 必要に応じて社会福祉課、警察署、配偶者暴力支援センター等と連絡している。</p>	企画課

## 重点項目-3 生涯を通じた健康等の支援

### (1) 性と生殖の健康・権利に関する意識の浸透

施策の内容	19年度実績(課題)	担当課
性と生殖に関する健康/権利の概念浸透のための、広報活動や学習機会の提供、青少年に対するHIV/エイズ等の正しい知識の普及を図る。	<p>○ エイズに関する指導については、小学校では、特に6年生「体育」の保健領域や「学級活動」で、また、中学校では、特に「保健体育」の保健分野や「学級活動」において指導に取り組んでいる。</p> <p>○ 薬物乱用防止教育については、特に中学校「保健体育」の保健分野の中での指導をはじめ、「道徳」や「特別活動」でも取り組んでいる。また、薬物乱用の低年齢化を踏まえ、小学校でも「体育」や「道徳」等を中心に指導の充実を図っている。</p>	学校教育課

## (2) 生涯を通じた健康増進対策の推進

施策の内容	19年度実績 (課題)	担当課																					
全ての市民が健康で、明るく、いきいきと安心して暮らせるよう、健康教育、健康相談、各種健(検)診等を実施し、正しい知識の普及と検診受診率の向上を図る。	<p>○総合検診を市内32か所で実施し、検診約1か月後の結果説明会で健康相談、健康教育を実施</p> <table border="0"> <tr> <td>受診者</td> <td>基本健康診査</td> <td>4,987人</td> <td>大腸ガン</td> <td>5,301人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>結核</td> <td>6,475人</td> <td>肺ガン</td> <td>6,229人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>前立腺ガン</td> <td>1,543人</td> <td>胃ガン</td> <td>3,754人</td> </tr> </table> <p>○妊娠届出時には必ず保健師が面接し、妊娠中の健康管理について指導するとともに、不安の軽減に努めている。また、妊婦・乳児の異常の早期発見のため受診無料券を発行</p> <p>○乳ガン・子宮ガン検診を集団・個別検診方式で実施。マンモグラフィ検査は集団のみ実施</p> <table border="0"> <tr> <td>受診者</td> <td>乳ガン</td> <td>2,203人 (内マンモ受診者 1,738人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子宮ガン</td> <td>1,846人</td> </tr> </table> <p>○小児科については平成18年4月から、新見中央病院で小児科専門医により月～土曜日まで毎日診療がおこなわれている。 産科についても哲多町「女性と子どものクリニック」が開設され月～土曜日まで毎日診療がおこなわれている。</p>	受診者	基本健康診査	4,987人	大腸ガン	5,301人		結核	6,475人	肺ガン	6,229人		前立腺ガン	1,543人	胃ガン	3,754人	受診者	乳ガン	2,203人 (内マンモ受診者 1,738人)		子宮ガン	1,846人	健康づくり課
受診者	基本健康診査	4,987人	大腸ガン	5,301人																			
	結核	6,475人	肺ガン	6,229人																			
	前立腺ガン	1,543人	胃ガン	3,754人																			
受診者	乳ガン	2,203人 (内マンモ受診者 1,738人)																					
	子宮ガン	1,846人																					

## (3) 高齢者・障害者等の健康と社会参加の促進

施策の内容	19年度実績 (課題)	担当課								
老人クラブ活動支援、高齢者・障害者の自立支援サービスの整備・充実、バリアフリー、ユニバーサルデザインの啓発及び普及を図る。	<p>○老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助金による活動支援を行っている。</p> <table border="0"> <tr> <td>補助金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>老人クラブ連合会</td> <td>2,369千円</td> </tr> <tr> <td>単位老人クラブ(100クラブ)</td> <td>5,960千円</td> </tr> </table> <p>○高齢者の自立及び社会参加を促進するため、住宅改修の助成を行っている。</p> <table border="0"> <tr> <td>住宅改修助成事業(42件)</td> <td>11,284千円</td> </tr> </table>	補助金額		老人クラブ連合会	2,369千円	単位老人クラブ(100クラブ)	5,960千円	住宅改修助成事業(42件)	11,284千円	高齢者支援課
補助金額										
老人クラブ連合会	2,369千円									
単位老人クラブ(100クラブ)	5,960千円									
住宅改修助成事業(42件)	11,284千円									